

PICO<sup>◇</sup> 創傷治療システムは、単回使用の局所陰圧閉鎖療法 (NPWT) 用の機器です。急性および慢性創傷の治療を促進します。

### [ セット内容 ]



- A PICO 陰圧維持管理装置**  
(保険算定に伴う名称：陰圧創傷治療用カートリッジ)
- B PICO ドレッシング (2枚)**  
(保険算定に伴う名称：局所陰圧閉鎖処置用材料)  
※固定フィルムも同封されています。
- C 延長チューブ**
- D ベルトクリップ**
- E 単三アルカリ電池 (2本)**

ドレッシング材との  
接続部位

### PICO ドレッシングの種類

PICO ドレッシングは様々な創傷のサイズや形状を考慮した規格バリエーションが豊富にあります。

製品番号	サイズ	パッドサイズ
66802000	マルチサイト小 (15 x 20cm)	122 cm <sup>2</sup>
66802001	マルチサイト大 (20 x 25cm)	248 cm <sup>2</sup>
66802002	10cm x 20cm	5.6cm x 15 cm
66802003	10cm x 30cm	5.6cm x 25cm
66802004	10cm x 40cm	5.6cm x 35cm
66802005	15cm x 15cm	10cm x 10cm
66802006	15cm x 20cm	10cm x 15cm
66802007	15cm x 30cm	10cm x 25cm
66802008	20cm x 20cm	15cm x 15cm
66802009	25cm x 25cm	20cm x 20cm

### PICO 創傷治療システムの製品ポイント

1. キャニスターではなくドレッシングで管理いたします。
2. 単三電池2本で稼動します。
3. 7日間の連続使用後、自動的にPICO本体が停止し、陰圧治療が終了します。  
使用後は電池を抜き、燃えないゴミに廃棄します。  
ドレッシング材の破棄に関して / 医療廃棄物として処分します。
4. 設定陰圧は-80mmHgです。
5. PICO ドレッシング貼付後、固定フィルムでの補強が必要です。

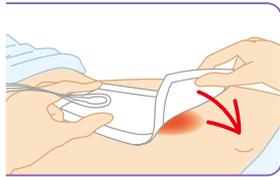


販売名：PICO 創傷治療システム  
高度管理医療機器 (クラスIII)  
一般的名称：単回使用陰圧創傷治療システム

JMDN コード：58202003  
承認番号：22600BZX00226000

創傷サイズより大きなドレッシングを選び、創傷に貼付し、  
接続チューブと PICO<sup>◇</sup> 本体を接続し、陰圧状態を保ちます。

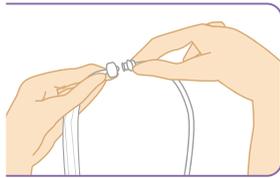
step  
**1**



**創傷にドレッシングを適切に貼付します。**  
創傷がドレッシングの中央部になるように貼付します。

**注意!** ドレッシングのパッドはカットしないでください。  
機能を保てなくなります。

step  
**2**



**ソフトポートと延長チューブの  
コネクターをつなげます。**

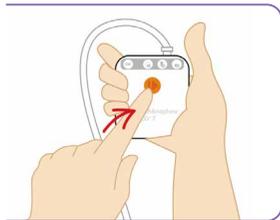
step  
**3**



**接続チューブをPICO本体につなげます。**

創傷部位に応じて、延長チューブが不要の場合、ソフトポートからの  
チューブと陰圧維持管理装置の各コネクターを直接接続します。

step  
**4**



**陰圧維持管理装置に単三電池を2本挿入し、  
PICOのスイッチ（オレンジボタン）を  
押すとドレッシングに陰圧がかかり  
治療が開始されます。**



その際少しドレッシングが縮みますが、陰圧がかかったことを示します。

step  
**5**



**ドレッシングの四辺を付属の固定フィルムで止め、  
皮膚へしっかりと馴染ませます。**

ドレッシングの辺縁に約1cm重なるように固定フィルムを貼付します。

### PICO 陰圧維持管理装置 アラーム表示

シンプルで分かりやすい点滅表示で  
患者様の不安を軽減します。



**A オレンジボタン**

陰圧治療開始ボタンです。  
陰圧は-80mmHgを維持します。  
PICO作動時に、オレンジボタンを押すと  
一時停止しますが、1時間経過により、自動再開します。



**B 緑の「OK」ライトが点滅する。**

陰圧治療を開始し、適切に作動している場合、  
緑色に点滅をします。



**C 低陰圧（リーク）ライト**

エアリークがあり、低陰圧になった場合、  
オレンジ色に点滅をします。



**D ドレッシング交換ライト**

ポート部分まで滲出液が染み出しており、  
ドレッシング交換が必要です。

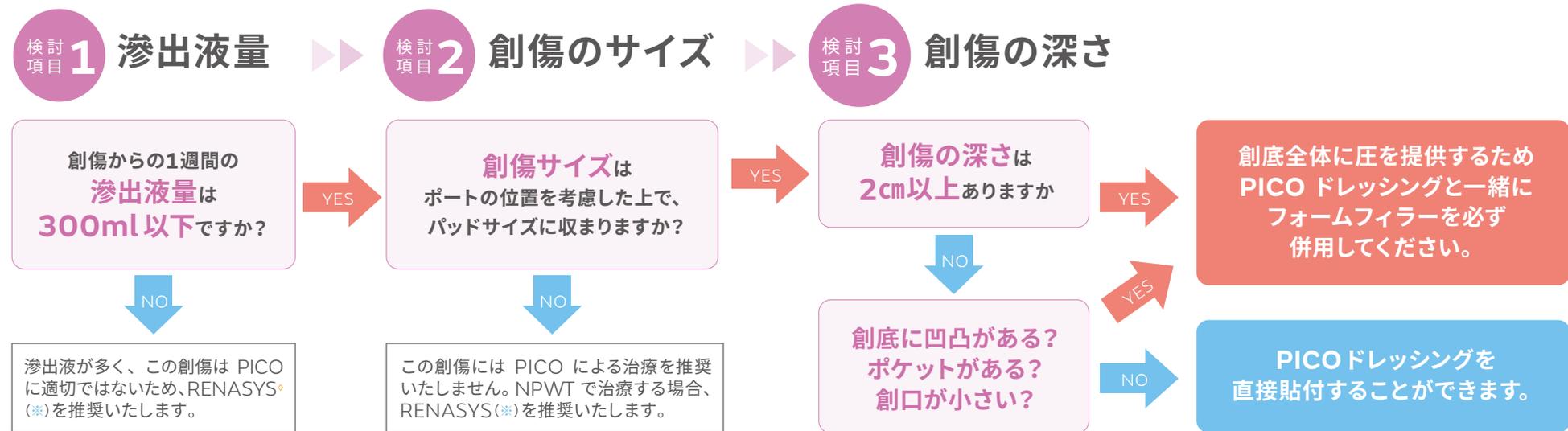


**E バッテリーライト**

バッテリー（単三電池）の残量が24時間以内と  
なった場合、オレンジ色に点滅をします。

創傷の深さ・形状によってドレッシングを直接貼付できる場合とフィラーを使用する場合があります。十分なアセスメントをしてから使用してください。

### [ PICO<sup>®</sup> 創傷治療システムの使用に適した創傷とは ]



PICOは滲出液量が  
1週間に300ml以下の  
創傷に適しています。



(※) RENASYS  
創傷治療  
システム



滲出液が中等量の場合、一般的に  
創傷面積がドレッシングの  
パッド面積の25%に収まる  
サイズを選択します。



ドレッシングの選択はchapter4を参照 →

創傷が浅く創底が平坦な場合は、  
フォームフィラーなしで直接ドレッシングを  
使用することもできます。



創傷が深い(およそ0.5cm以上) 場合などはフォームフィラーを併用することをご検討ください。また、次の場合もフォームフィラー使用を考慮します。

創底に凹凸がある / ポケットがある / 創口が小さい

フォームフィラーの使用方法はchapter4を参照 →

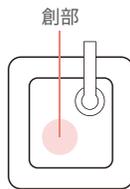
## 使用上のポイント

創傷に応じたドレッシングを選び、  
ポート部の位置に注意して貼付します。交換時期を  
見逃さずに、また、必要に応じてフィラーを使用します。

### 【ドレッシングの選択（滲出液の量で選択）】

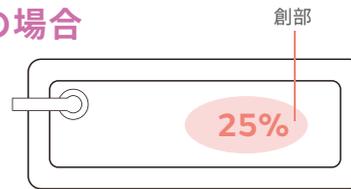
#### 滲出液が少量の場合

ドレッシングのポートが創傷にかからない（健常皮膚の上）サイズを選択。



#### 滲出液が中等量の場合

パッド部の大きさが創傷の約4倍になるサイズのドレッシングを選択。



### 【ドレッシングの交換時期】

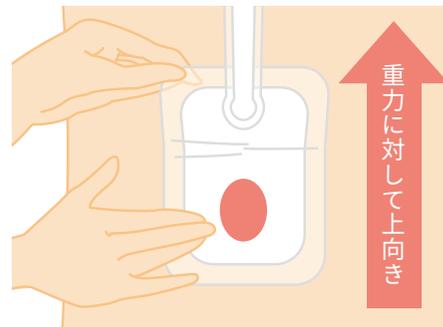
ドレッシングの外観（滲出液の染みの状態）を定期的に観察し、次の場合（右図参照）は交換してください。

- ポート部まで滲出液が染み出した状態
- パッドの縁まで滲出液が染み出した状態



### 【ドレッシングポート部の位置】

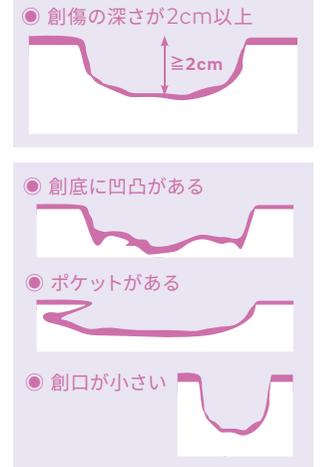
ポート周辺に滲出液が溜まって吸引を妨げるリスクを回避するため、ポート部は重力に対して上向き（創傷よりも高い位置）に、また、創傷部位と重ならない（健常皮膚上）ように貼付します。



ドレッシングポート部が重力に対して上向きに来るように貼付

### フィラーの使用方法

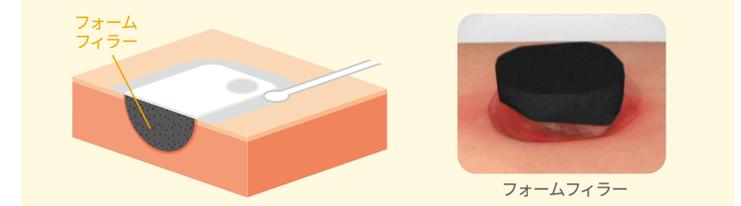
創傷の深さが2cm以上の場合には必ずフォームフィラーを併用してください。フォームフィラーは創底の凹凸や空洞を埋め、創部全体に陰圧を与えるためにPICO<sup>◇</sup>と一緒に使用できます。



創傷が深い（0.5cm以上）場合、また、次の場合はフォームフィラー使用を考慮します。

- 創底に凹凸がある
- ポケットがある
- 創口が小さい

フォームフィラーは深い創傷や滲出液の多い創傷や凹凸のある創傷に適しています。創の状態に応じて選んでください。



#### RENASYS<sup>◇</sup> フォームフィラー

製品番号	サイズ	入数
66801021	10×12.5×1.5cm	1枚

RENASYS創傷治療システム(承認番号:22400BZX00276000)の構成品です



## 入浴時のポイント

ドレッシングは防水性ですが、長時間水に触れると浸水・粘着力の低下を起こす可能性があるためしっかり保護してください。

### [ 入浴 / シャワー浴方法について ]

#### 1 治療を一時停止します

PICO<sup>®</sup> 陰圧維持管理装置 (PICO 本体) のオレンジのボタンを押し、陰圧を止めます。

PICO 本体は1時間経つと自動的に治療を再開します。1時間以上中断する時は電池をはずしてください。



#### 2 PICO 本体を取り外します

コネクター部分をねじり、PICO 本体からドレッシングにつながっている接続チューブを外します。

**注意!** 故障の原因になりますので、PICO 本体は浴室に持っていかないでください。



#### 3 ドレッシングチューブコネクターを保護

ドレッシングチューブのコネクターを食品用ラップなどで包んで水がチューブに入らないようにします。接続チューブは水につけないようにしてください。



#### 4 ドレッシングをラップ等で保護

ドレッシングが濡れないように、食品用ラップやビニール袋などを巻いて保護します。



#### 5 さらにフィルム等で保護を強化

必要に応じて未滅菌フィルム等で食品用ラップの端から水が入らないように保護してください。

入浴やシャワーの終了後は、ラップやビニール袋は外してください。



#### 6 治療を再開します

ドレッシングが濡れていたらタオルなどで水分をふき取ります。延長チューブとドレッシングチューブを接続し、オレンジボタンを押して治療を再開します。



### 注意事項

陰圧維持管理装置は取り外して濡れないように安全な場所に置きます。ドレッシングにはできるだけ直接水がかからないようにし、チューブの先端を下に向けコネクターに水が入らないようにしてください。



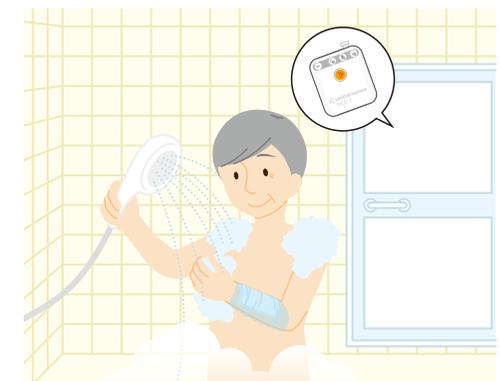
長時間の入浴は避けてください。



PICO 本体は浴室に持ち込まない  
取り外して濡れないように安全な場所へ置いてください。



創部を浴槽につけることは出来ません  
軽めのシャワーのみにしてください。



# アラーム表示

PICO<sup>◇</sup> のアラームは音がなりません。

表示灯を定期的を確認でき、操作しやすい状態を保ち、いつでも適切な対処ができるようにしてください。

アラーム音などの予期せぬ音は、多くの患者様にとって不安要素となり、QOL に悪影響を及ぼします。そのため、PICOのアラームは目視による表示灯を採用しており、音は鳴りません。表示灯の点滅に随時注意してください。

### [ 通常作動時 ]

	<p>「緑色」に OK ライトが点滅</p>	<p>正常に作動しており、問題ありません。</p>
---	----------------------------	---------------------------

### [ トラブル時 ]

	<p>① 「オレンジ」に 「リーク」ライトが点滅</p>	<p>ドレッシングにシワや剥がれがあり、リークが生じています。 ➡ ドレッシングとテープ固定部を皮膚になじませ、シワは取り除きます。剥がれている部位に固定テープを追加します。</p>
	<p>② 「オレンジ」に 「ドレッシング交換」 ライトが点滅</p>	<p>ポート部分まで滲出液が染み出しており、ドレッシング交換が必要です。 ➡ 新しいドレッシングに交換し、オレンジの開始ボタンを押します。</p>
	<p>③ 「緑色」に OK ライト、 「オレンジ」に「バッテリー」 ライトが点滅</p>	<p>正常に作動しているが、電池の寿命が24時間以内になると点滅します。 ➡ 電池を交換し、オレンジの開始ボタンを押します。</p>
	<p>④ 2箇所「オレンジ」に ライトが点滅</p>	<p>リークが生じていることと、電池の残量が少なくなっています。 ➡ ①、③の対応を実施します。</p>

### 陰圧維持管理装置の 振動が断続的に 起こります



#### なぜ起こるのか？

陰圧維持管理装置は治療を適切に行うために陰圧を維持するように設計されています。そのためドレッシングからの微細な空気もれなどに対して正常に陰圧を維持するため、本体が作動し振動が断続的、または継続的に起こります。

#### 注意点とその対応

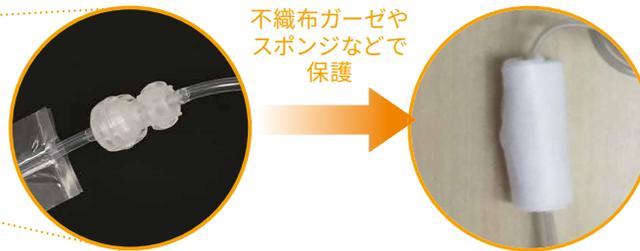
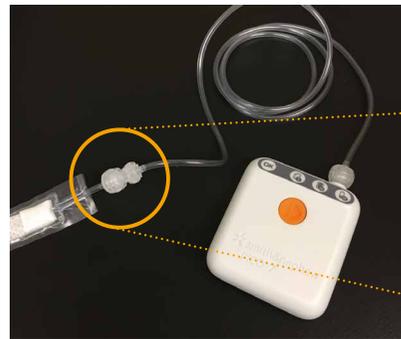
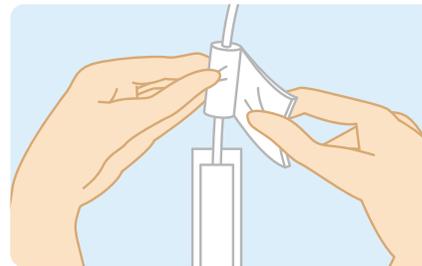
複数人の病室、振動に対して敏感な患者様に対しては事前説明が大切です。また、空気もれを減らす貼付方法を工夫したり、就寝時には本体をタオルでくるんで振動音を抑えたり、振動音を最小限に抑える方法をご検討ください。

## 注意事項 ①

PICO<sup>◇</sup> を安心してお使いいただき、確実な創傷治療を行うために次のような点にご注意ください。

### 【 接続コネクターの注意点 】

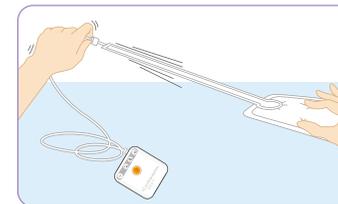
患者様や創傷部位によっては、PICO ソフトポートのコネクターが圧迫を起こし、痛み等を感じることがあります。予防として、接続コネクターを不織布ガーゼやスポンジなどで保護することをお勧めします。



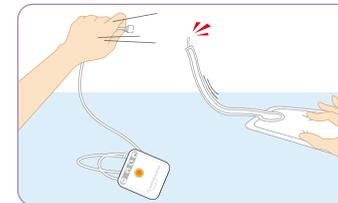
不織布ガーゼや  
スポンジなどで  
保護

### ソフトポート部分は破れません

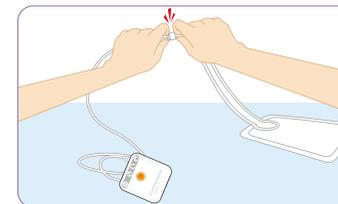
ソフトポート部分が破れてしまうのではと心配されるかもしれませんが、ソフトポート部が破れてしまう前に、コネクター部が外れる設計になっているので簡単には破れません。外れたコネクターは何度でもつけ直しますのでご安心ください。



強い負荷がかかると



コネクター部分が外れます



つけ直し可能



### 【 ドレッシング交換時の注意点 】

ドレッシングの交換は、ソフトポートのコネクター部をねじりながら外し、固定テープを皮膚からはがしてドレッシングの端を持ち上げて取り除きます。このとき、延長チューブや本体を誤って捨てないように注意してください。



本体と延長チューブは  
捨てないでください。

コネクター部分をつけ直した際は、ドレッシングとPICO本体がしっかり接続されており、陰圧が維持されていることを確認してください。

